

未来にはばたけ 希望の九小

令和4年4月28日(木)

府中市立府中第九小学校

校長 生井 信太郎



5月



多くの支え

副校長 奥井 寿美子

令和4年度が始まり、1か月が経ちました。子供たちは、新しい環境の中で、まるで乾いたスポンジが沢山の水を吸収するように、多くの学びを心と体に染み込ませていきます。

今回は、そんな新しい学びの環境を「支え」ている「職員」の紹介をしたいと思います。

実は、九小は74名もの職員が子供たちのために自身の職務にあたっています。

「担任」「専科教諭」「特別支援学級教諭」「特別支援教室教諭」「養護教諭」「講師」は子供たちを直接授業で指導する機会が多いので、身近に感じておられる方が多いと思います。

「事務職員」は、主に施設面の管理や物品管理をしています。子供たちが直接触れるものを多く扱っており、まさに縁の下の力持ちです。

「特別支援教室専門員」は、特別支援教室へ通う子供たちの様子を見て情報をまとめたり、巡回指導校との橋渡しをしたりと多岐にわたります。

「用務員」は学校全体の施設の修繕のみならず、ごみの分別・回収や畑の整備など美化にも務めています。子供たちに美化に関するアドバイスもしており、また安全に過ごすための点検もいつも行っています。

「ALT」は Assistant・Language・Teacher の略で、外国語活動の際に Native の発音で学習補助をしています。

「ICT支援員」は、授業の時に、子供たちのタブレットの作業の支援をしたり、授業教材の作成のアドバイスをしたりしています。学力調査の際のタブレット操作や学校アンケートのフォーム作りなど GIGA スクールを進めていく上で欠かせない存在です。

「学校支援員」は9名。生活指導の補助だけでなく、理科の実験の準備や図書室の本の整備をしている職員もいます。

「特別支援学級補助員」は、名前の通り、本校「ふたば学級」の児童の活動補助をしています。10年以上勤務しているベテランもいます。

「校務改善支援員」は、児童に配布するお手紙の印刷や配布だけでなく、チャイムの時間設定や ICT 機器の管理、データ管理など多岐にわたっており、欠かせない存在です。

「解錠員」「施錠員」は、名前の通り、窓などを含めた学校全体の解錠、施錠をしています。朝早くから夕方遅くまでお世話になっています。

「配膳員」は4名。全児童440人+職員の給食を毎日管理し、安全に運んでいます。

「学校警備員」は登下校を中心に校門付近だけでなく、校庭などもまわって安全をたしかめています。

多くの人の「支え」で成り立っている九小。私自身も、昨年本校に赴任してその多岐にわたる職務に驚きました。子供たちには、「あいさつ」と「日頃の感謝」を表現するよう全校朝会で話しました。

今年度の教育活動がさらに充実したものになるように職員全員で、それぞれの職務に励んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。